

38号

題字 竜美丘小
3年 谷川洗一

かいはつ



事業所見学会(交流会)

岡崎市現職教育委員会 特殊教育部会

平成10年3月4日発行



ゆうあいピック
愛知・名古屋大会に思う

広幡小学校長

有我亮介

昨年十月の、ある朝のこと。K子の母親があわただしく校長室に駆け込んできました。

「うちの子、バレーボールの試合で二位になったよ。惜しくも決勝戦で負けたけどね・・・」

ゆうあいピック愛知・名古屋大会でのわが子の活躍を報告に来たのでした。

K子は、本校の卒業生で、小・中とも特殊学級に在籍し、現在、豊田高等養護学校の二年生です。

卒業して五年もたった小学校に報告にいられた母親の喜びは、当然その子の喜びであり、同じように、ゆうあいピックに参加した多くの選手たち、関係者の喜びであつたに違いありません。

この喜びとは、全国的な大会で持てる力を存分に発揮できた満足感だけでなく、正当な評価を受け、役割を果たして認められたという存在感でもあつたと思います。

いや、それだけでなく、この喜びのなかに、障害をもつ人も、もない人も、より豊かに生きることがを願い、求めるのは当然であるという意志を読みとるべきであると思うのです。

高円宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、地元の高校生、大学生もいっしょに参加した開会式に出席して、ともに生きることの喜び、より豊かに生きようという願いを温かい感動の中で実感しました。

特殊学級進路指導委員会

事業所見学会

講演・交流会・職場見学

二月十七日に中学校特殊学級進路指導委員会の主催による『事業所見学会』が、生徒・保護者・教師百二十一名の参加のもと行われました。

この会の目的は大きく分けて二つあります。

- (1) 生徒には、事業所で働く人々の姿を見て働く意欲を高め、卒業後の進路について関心を高めること。
- (2) 保護者には、事業所見学や講演を参考に、進路について考える機会とすること。

午前中は、勤労文化センターに集合しました。保護者は生徒の交流会を見学してから、講演会に参加しました。生徒はゲームを中心とした交流会を楽しむことができました。

講演は、「手をつなぐ親の会・副会長」市川様にお願いました。障害を持った我が子の、進学・就職時に出会った悩み・苦勞を話され、社会自立に向けて親としての

心構えを教えて頂きました。

午後は、六グループに分かれて、それぞれ事業所を見学しました。今回は、少人数でゆつくりじっくり見学したいという希望から、岡崎職業安定所のご努力によって実施できました。

将来的な『社会自立』の一步として、この『事業所見学会』は、貴重な学習の場になりました。



保護者の声

市川さんの「講演」を聞いて

山本 豊一

私は、目標を「自立」させる事に一生懸命になり、子供に押し付けた。しかし出来ない。悩む。そんな矢先の中での、講演会でした。日々の生活の中で教育、しつけこそ「自立」への道が開ける。

「日々」、あいさつ、あとかたづけ、歯磨き、宿題、服装など、

れは、決して難しい事ではありませぬ。しかし、人が生きて行くための「基本」であると思います。

私は、目標を「基本」にかえて、子供と一緒に、頑張ります。
事業所の見学から学ぶ
庵 正子

私の息子は、今年の春で三年生になります。あと、二、三年したら就職です。就職するにあたって一番心配している事は、職場での人間関係です。でも今日見学させて頂いたミユキ工業の社長さんの話を聞いて、少し不安が取れた様な気がします。特に先輩の方が休みの日には、積極的にパーベキューやスキーに誘って下さっている話を聞いた時は、障害者でも普通に接してくれる職場もあるのかと、少し安心しました。やはり、障害を持った子が長く仕事を続けるには、本人の努力はもちろんの事、回りの人の手助け、いい指導者、いい先輩に巡り会える事が一番大事だと思います。今回の様に、卒業生が実際に一生懸命働いている姿を見ると、同じ障害を持つ子供の親としても、とても励みになります。今日は、どうもありがとうございました。

おいしいとこだけ つまみ食い

甲山中 安藤 恒海

相方の小椋先生、校内や部会のスタッフ、そして何より教室で私を待っている子ども達の澄んだ目が、私に生きる力を与えてくれました。

この子たちがさし出してくれた杖を頼りに立ち上がり、何とか今日まで勤めさせて頂きました。

「この間、朝礼で、今度特殊学級をふやしたいと思うが、担任を希望する者は申し出よとおっしゃいましたが、だれか来ませんでしたか。」
「私はあの時、先生の顔を見ながら言いました。ぜひやって下さい。まだだれも来てません。」
当時の葵中・大賀校長のお言葉にコロッとまいって、この道に入りました。
その数年前、家内が家の子供部屋を解放して障害児保育を始めました。まだ障害者年前で、福祉の村も、障害児保育も始まっておらず、三才児検診で自閉又は多動と診断されるとこの幼稚園から保育園からも入園を断られ、パニックで走りまわる子どもをかかえた母親は、世間や親族の冷たい目を気にして、なすすべもない時代でした。
そういう子どもたちを五人・八人と預かって、夜は母親たちの電話につき合う家内の姿を見ても、少しは力になれるかと思つて、特殊の担任になりました。「お父さんに何ができるの。」と初めは笑っていた家内ですが、だんだん私を認めてくれるようになりました。そして、後をたくすともいうように、病に倒れて逝ってしまいました。託されるにしても、私自身が再起不能に近かったのですが、

「お父さんは前半、英語の先生で同級会にたくさん呼んでもらって、今はまた〇〇ちゃんや母さんたちに慕われて、おいしい所だけつまみ食いしてきたじやん。いいなあ。」と娘が言いますが、その通りで、申し訳ないと思います。感謝

「就学にむけて」

愛知県立心身障害児療育センター
第二養育学園 副園長

早川文雄

子どもは学校生活で社会適応力と学習意欲を大きくみます。

社会適応力とは、集団の中に身をおいて平気であること、独りであるより関わっていたいと思うこと、みんながするなら私もやろうと思うこと、はみださないようルールを守ろうとすること、人の期待にこたえて好ましく思われたいと感じること、などです。学習能力が向上しても社会適応力が育たないと、将来の自立に支障をきたす

私の教室日記

「T君と・・・」

美合小 市川恵美子

二三学期はT君のなかよし係をやりたいな。」

数名の女の子が耳打ちしてきました。ぜひやってほしいことを伝えると、ぱっと顔を明るくしてうなずき合った。その日はちよ

ことがあります。

社会適応力は様々なストレスを克服する過程で身につきます。そのためにはストレスをあびても大丈夫という自信と、「それでもみんなといたい。」という欲求を育てる必要があります。単に学習効果だけを考えると、能力差がある

子どもは学校生活で社会適応力と学習意欲を大きくみます。社会適応力とは、集団の中に身をおいて平気であること、独りであるより関わっていたいと思うこと、みんながするなら私もやろうと思うこと、はみださないようルールを守ろうとすること、人の期待にこたえて好ましく思われたいと感じること、などです。学習能力が向上しても社会適応力が育たないと、将来の自立に支障をきたす

子どもは学校生活で社会適応力と学習意欲を大きくみます。社会適応力とは、集団の中に身をおいて平気であること、独りであるより関わっていたいと思うこと、みんながするなら私もやろうと思うこと、はみださないようルールを守ろうとすること、人の期待にこたえて好ましく思われたいと感じること、などです。学習能力が向上しても社会適応力が育たないと、将来の自立に支障をきたす

力学級との交流を大切にし、家庭生活でも社会的な交わりを努力すべきです。一方、社会性を重視して普通学級に入るなら、学校生活以外の学習機会を考えます。つまり、学校生活と家庭生活で補い合う関係が必要になってくるわけ

先生や親の気持ちが先行してストレス過剰の学校生活になると、子どもは元気がなくなってしまう。そうすると、学習意欲や社会性の伸びを期待できません。学校生活を楽しくのびのび過ごすことができるよう励まし勇気づけることが、先生やお母さんにとってとても大切な仕事だと思えます。

子どもは学校生活で社会適応力と学習意欲を大きくみます。社会適応力とは、集団の中に身をおいて平気であること、独りであるより関わっていたいと思うこと、みんながするなら私もやろうと思うこと、はみださないようルールを守ろうとすること、人の期待にこたえて好ましく思われたいと感じること、などです。学習能力が向上しても社会適応力が育たないと、将来の自立に支障をきたす



うどお弁当持ちで、彼女らは四組の教室に出かけ、挨拶しがてらT君と一緒に弁当を食べたそう。

T君が交流学習に来て以来、子供たちの心の中は、受け入れたい気持ちでいっぱいだった。教えてあげたり、手を引いたりして接して来た。しかし、そういう態度はT君になかなか受け入れてもらえず、いつも風のように抜けていっ

「おはようございます。」
「おはようございます。」
「おはようございます。」
といったらわりました。



岡崎小
山本久美子

学校のすぐ裏に五十頭ほどの乳牛を育ててみえる佐野さんは、私たちの訪問をいつも温かく迎えてくださる。春は葉の花摘み、夏は桑の実とり、秋は高い木に登って柿の実とり、冬はたき火などで子どもたちを喜ばせてくれる。その中でも、子供たちは牛とのふれ合いを楽しみにしている。そして、子牛の誕生、病気の牛への語りかけ、牛の世話などを通して、生き物へのいたわりの心を育てている。体を鍛え、優しい心を育てていくために、自然、生き物、人との

かかわりを大切にしていきたい。

学級スナック

喫茶店 "トトロ"

南中三年十一組 二年十組
六十余人の先生がいる南中で、一人でも多くの先生に聞われればと始めた喫茶店。四回目になる。注文とり、代金受けとり、チケツト配りなどを通し、先生方とも触れ合う機会ができた。お金を実際に扱い、中にはわざわざ「おつりは、いくらになりますか」と、なげかけてくれた先生もいた。

今回は学級新聞の交換が縁で、美川中が来てくださり、他校との交流もできた。忙しい中で、充分なおもてなしもできなかったが、意義ある一日となった。



進路指導部会から

進路指導委員会へ

(その二)

山中小

野村正文

昭和六三年度の教育施策の目玉として、市教育委員会は、中学校特殊学級進路指導委員会の設置を決めた。

五月、市教育委員会は、「中学校の特殊学級に学んでいる生徒の進路を、本人の希望や適性にそつよう、各学校で行つていた進路指導を改め、学校がスクラムを組んだ市中学校特殊学級進路指導委員会を設置し対応していくこととする」と、新聞発表した。

この委員会を組織するにあたり、教育委員会担当主事（青木）や特殊教育部部長（林・松崎校長）らの精力的な交渉によつて、岡崎職業安定所長、市福祉協議会会長、岡崎市商工会議所会頭、市福祉部長などから理解・協力・支援を得ることができるとなつた。

委員会の事業として、年三回の委員会をはじめ、養護学校との連

絡・調整、職場や訓練校への見学、職業適性検査の実施等の活動を展開した。特に、職業安定所においては、専属の担当者を配属し、強力な指導をしていただいた。

初年度の進路指導の大きな成果として、特に、二つのことがあげられる。一つは、安城養護学校の希望者が定員をはるかにオーバーしてしまい、二名の生徒の進路変更を余儀なくされた。しかし、この委員会を中心に、保護者や担任との話し合いが進められ、保護者が納得できる方向で進路決定をす

ることができた。もう一つは、職業安定所の指導をいただき、ソニー幸田工場への就職を決めることができたことであつた。

各学校が特色ある作業学習を展開していく中、葵中学校の協力を得て、岡崎市の「希望の家」にあつた印刷機を借用し、設置した。さらに、名刺用印刷機の寄付（二台）などがあり、設備等の充実を図ることができた。その結果、葵中学校（柴田、武田）では、牛乳パックで紙をすき、名刺の印刷をするという作業学習が確立した。

進路指導委員会が設置されて四年目の平成三年四月、今までの実践をまとめる仕事に入る。編集方

針を「初めての担任でも進路指導ができる事例集」として、九つの事例とそれに関わる手引き項目をつけ、まとめた。

こうして、年々この委員会の活動が充実するなか、新たな問題がでてきた。岡崎市内から安城養護学校高等部へ進学した生徒が卒業する時、市内の進路先の情報がほとんど流れていながつた。そこで、安城養護学校高等部の部主事に連絡を取り、オプザーバーというこ

とで委員会に出席していただき、その解決にあつた。

今後は、社会状況の大きな変化とそれに伴う保護者の考え方をしつかり把握して、生徒の一人一人が自己実現できる、さらなる進路指導の充実を図られることを期待している。

がんばつた六年間

連尺小 松田 恵資

ぼくは、小学校でいろいろなことをべんきようしました。かん字もいっぱいおぼえました。時計もよめるようになりました。とてもうれしかつたです。

中学校にはいつたら、友だちをいっぱい作つてなかくしたいです。そして、またべんきようやワープロをがんばりたいです。

六年間
ありがとう
松田 暁美



三年間の思い出

福岡中 菅沼 加奈

私は、もうすぐ卒業です。私はスキーやデイズニールランドへ行つたことが楽しかつたです。この前友達とプリクラも行きました。また行きたいと思ひました。

私は高校に入つたら、みんなと仲よく勉強や運動をがんばりたいと思ひます。

希望
菅沼 典子
昨年一年間、それは私と娘との闘いでした。今では拒食症に苦しんだ二年生の頃がうそのように娘は元氣を取り戻しま

し、乗り越え、大きく成長しました。そこには『希望』があつた。苦しくて、ペソをかく時もあつた。そんな彼女も、もうすりました。そんな時、真剣に指導してくれました。先生方、優しくしてくれました。先生方、友達は今お世話になつた先生方、友達に心をこめて手紙を書いていま

す。私共々、これからも希望に向か



昭和63年度事業所見学

表彰

第十九回愛知県特殊教育振興大会顕彰生徒
第十七回東海日日新聞社学級新聞コンクール

東海日日新聞社賞 矢作中 奈良部雄大
特別賞 広幡小 六年五組・六組